

# 新「一関市」誕生から3年半

平成17年9月20日に7市町村の合併による新しい「一関市」が誕生してから、約3年半が経過しました。合併で私たちの暮らしがどう変わったのか、その検証には中長期的な観点が必要ですが、現時点までの効果について整理しました。

## 市民生活の利便性向上を目指した取り組み

### 効果1

#### 市民サービス窓口の増加

○合併により、本庁・各支所のどの窓口からでも住民票などの各種証明書の発行を受けることが可能となりました。  
○市内のどの図書館からでも図書検索や予約、受け取り図書館の指定が可能となり、インターネットからもサービスを受けられるシステムを、19年10月から運用開始しました。

### 効果2

#### 専門職員の充実

専門職員を効率的に配置・増員することが可能となりました。また、今まで配置の困難だった分野に専任の職員を配置することができました。  
合併で新設や拡充した主な専門職員は、次のとおりです。

- ▽家庭児童相談員：3人配置
- ▽障害児保育専門員：障害児保育を実施する園に6人配置
- ▽ケースワーカー：福祉事務所設置により9人配置
- ▽就職アドバイザー：ジョブカフェ一関に1人配置
- ▽幼児ことばの教室専任指導員：市内小学校3校に配置
- ▽ことばの力を育てる指導員：推進校3校に配置
- ▽学びの支援員：小学校4校に配置
- ▽外国語指導助手：市内小中学校に9人を派遣
- ▽図書館司書：6人配置

### 効果3

#### 情報通信網の整備と行政基盤の確立

○公共施設間を光ファイバーで結び、地域間の情報格差を是正

### 効果4

#### 子育て支援・高齢者支援

当地域は、少子高齢化と人口減少の進行の度合いが県内でも高い地域であることから、子育て

### 効果5

#### 新規・拡充事業

前記のほか、市民生活の利便性向上を目指したシステムなどの整備、健康づくりに関する事業や雇用創出に向けた企業立地促進事業、安全で快適な道路交通網の整備、農業者に対する支援、次代を担う子供たちの教育環境整備など、新市としての新たな取り組みや、対象内容を拡大しての取り組みを行うことが可能となりました。

効果4・5に掲げた主な事業などは、次のページのとおりとなります。



平成17年11月23日、一関市総合体育館で行われた合併記念式典。新市の誕生を祝い発展を誓い合いました。

## 新規・拡充事業の状況 (主なもの)

### 子育て支援

- おやこ広場の開設 (乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流する場の設置)
- 病後児保育の実施 (仕事等の都合で家庭での看護が難しい病気の回復期にある児童の一時保育を実施)
- AED (自動体外式除細動器)の充実整備 (市内全小中学校、市立幼稚園、保育園などへ整備するとともに、法人幼稚園、保育園へ整備費補助を実施：21年度予定)
- 特定不妊治療費を助成 (特定不妊治療を行った場合にその治療費の一部を助成)
- 第3子以降の保育園、幼稚園保育料を無料化 (21年度予定)
- 乳幼児医療費助成の充実 (保護者の所得制限を撤廃し、就学前の乳幼児の医療費を無料化)
- 妊婦健康診査の充実 (妊婦健康診査の公費負担を14回 (現在5回) に拡充：21年度予定)
- 産後サポーターの派遣 (産後の母親の体力回復と育児を支援するため、サポーターを派遣)
- 小児成人夜間救急当番医体制の整備 (夜間における小児救急医療体制を整備)

### 健康づくり

- 基本健康診査の拡充 (基本健康診査受診者の対象年齢を19歳以上に引き下げ)
- 前立腺がん検診の拡充 (全地域で実施)

### 協働のまちづくり

- 地域おこし事業 (活力ある地域づくりに取り組む団体を支援)
- 自治会等活動費総合補助金 (コミュニティー組織の地域課題解決に向けた取り組みなどを支援)
- 市民活動推進事業 (NPO法人との連携により市民活動センターを開設し、相談支援や交流の場を提供)

### 企業立地促進および支援

- 次世代ものづくり人材育成 (新入社員などを対象とした人材育成事業)
- 岩手県南技術研究センター内に貸し研究室を整備
- 人材育成の補助支援 (若手技術者の育成支援)
- 企業立地促進奨励事業補助金 (市内に工場などを設置した企業の設備投資に対し助成)
- 企業設備投資奨励補助金 (設備投資を行った企業に固定資産税の課税免除、不均一課税を行う)
- 中小企業振興資金貸し付け (融資枠拡大、保証限度額拡大および利子、保証料を補給)

### 安心・安全のまちづくり

- 木造住宅耐震診断事業 (一般木造住宅などに対する耐震診断を実施)
- 木造住宅耐震改修費の助成 (一般木造住宅などに対する耐震改修費の助成)
- 道路橋梁整備 (各道路・橋りょうの新設、改良整備)
- 災害備蓄用非常食整備 (災害備蓄用食糧の整備)
- 自主防災組織育成事業 (自主防災組織配布用防災資機材の整備など)

### 高齢者支援

- 寝たきり高齢者家族介護手当給付 (要介護4および5の高齢者の自宅介護を行う者に対し、手当を給付)
- 福祉乗車券の交付 (独居高齢者 (非課税者) などに対し、バス・タクシー券を交付)
- 配食給食サービスの展開 (おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者などに食事サービスを提供)
- 家庭訪問歯科診療の実施 (在宅の寝たきり者を家庭訪問し、歯科検診を実施)

### 教育環境などの整備

- 義務教育施設整備
- 学校給食センター整備
- 奨学金貸し付けの拡充 (高校生・高専生・大学生などを対象とし、奨学金を貸し付け)

### 農業者に対する支援

- 一関のめぐみブランド化推進 (一関の農畜産物のブランド化を進めるため、JAおよび生産者団体が実施する販売促進活動に対し支援)
- 骨寺村荘園地区特産品開発 (地域資源を生かした特産農産物、加工品等の商品開発)
- 繁殖牛生産振興対策 (繁殖素牛導入、自家保留に対する補助)
- 酪農振興総合対策 (優良乳用牛導入、優良受精卵購入、優良精液購入、搾乳施設整備に対する補助)
- 肥育素牛地域内保留対策 (地域内一貫生産によるブランド化を図るため、素牛導入経費に対し補助)
- 担い手育成 (認定農家への助言、指導を行う農業経営指導員を配置増員)
- 野菜花き生産振興 (振興作物の種苗や資材などの購入経費に対する補助)
- 新規就農者支援 (新規就農に必要な研修費用の一部を貸し付け)

### 歴史・文化の保護、保存

- 文化的景観の保全 (国の補助制度を活用した重要文化的景観を構成する重要建物の修理修景)
- 骨寺村荘園遺跡整備 (骨寺村荘園遺跡の史跡および重要文化的景観としての価値の保存などに関する各種施設の整備など)
- ことばを大切にすることの実施 (「ことばの地元学講座」や「ことば」をテーマに絞った事業や講座の展開)
- 学びの土曜塾の開設 (地域の歴史、文化、自然などを学ぶ学習活動を通じた生涯学習基本態度の養成)
- 文化財展開催 (旧7地域の県指定有形文化財を中心とした文化財展開催)

### 市民生活の利便性向上

- 携帯電話版市ホームページ制作
- 公金コンビニ収納の実施 (全国のコンビニエンスストアで納税が可能：21年度開始)
- 地域イントラネット基盤施設整備事業

※新規事業…色文字、拡充事業…黒文字